

不動の人気と実力を誇る若き天才ヴァイオリニスト、
五嶋龍の素顔に迫る!

五嶋 龍

スペシャル・インタビュー

Ryu Goto
Violin Recital 2015



昨年夏の感動のステージ、今春5月に控えるリサイタルについてや
ザ・シンフォニーホールに対する想いなど、
たっぷり語っていただきました!

神童としての鮮烈なデビュー以来、圧倒的な実力と人気を誇る五嶋龍。昨年夏には名門フランス国立リヨン管弦楽団と共にザ・シンフォニーホールに登場、正確無比でこの上なく華麗な演奏を披露しました。超ポピュラーではないラロの『スペイン交響曲』を最後までお聴きいただき有難うございました。ホールの隅々まで届く音の粒子に、ジュピター(日本音楽財団賞)のストラディヴァリウスとオーケストラと聴衆が一体になった忘れられないコンサートの一つです。と熱狂の拍手を送った観客へ感謝の言葉を述べる五嶋さん。そして今春、昨年の感動冷めやらぬ中、五嶋龍が早くもザ・シンフォニーホールへ帰ってきます。プログラムにはベートーヴェン『クロイツェル』、フランクの『ヴァイオリン・ソナタ』と最高傑作が並びます。これまでに海外では何回も弾かせていただいた2曲ですが、『クロイツェル』の「受け」がフランクよりもいま一つなのは納得いかず、原因究明に悩むところです。冒頭のフレーズなんて何年練習してきたことか。両方とも弾いた後の充実感是十分以上に値します。皆さまにも同じように感じていただき、心の丈を僕と一緒に昇華してもらいたい」と語る言葉からは、名曲に真摯に向き合う五嶋さんの姿が伝わります。共演者のマイケル・ドゥセク氏については「彼とはいつも気持ちよく、フレッシュが全くない状態でコンサートに臨めます。読書家で家庭人で、何よりも音楽が自然に彼の中で息づいている」と話し

ます。長年の共演を重ね、自然と息の合う二人が紡ぎ出す音色に期待が高まります。

舞台となるザ・シンフォニーホールについては「昨今の電子機器で拡声された安易な、耳慣れた音を目的とするのではなく、元来持っているべき人間の温かさとか繊細さに細心のテクノロジーでもって造られた、素晴らしいといしか言いようのないホールです」とその音響環境への絶対の信頼を語ってくれました。そして「僕が何度このホールで演奏できるのは皆さまのおかげです」と加え、彼を支えるすべての人への感謝を忘れません。

幼少期から空手の鍛錬を積み、名門ハーバード大学で物理学を学ぶなど、活躍の場は音楽に留まりません。そんな彼に、今夢中なことを尋ねてみると「性格的にその時々、やっていることになり夢中です。音楽以外では読書、空手、ゲーム、ビジネス」と。時間のマネージに困ってしまう」と素直な答えが。音楽活動では「残念ながら、音楽が世界の均衡に影響があるとは言えませんが、一人ひとりの心の平和に少しでも役立てるように、僕なりに進みたいと思っています」と、謙虚でひたむきな言葉が返ってきました。

一流ヴァイオリニストへの階段を駆け上がる天才、五嶋龍。今後も彼の活躍から目が離せません!

【ヴァイオリン】五嶋龍 【ピアノ】マイケル・ドゥセク

ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ 第9番 イ長調「クロイツェル」op.47 / フランク：ヴァイオリン・ソナタ イ長調 ほか

2015. 5/24(日) 2:00PM
A 7,800円 ※若干枚残のみ

【ご予約】サ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
【お問い合わせ】ABCチケットインフォメーション 06-6453-6000 【主催】朝日放送

発売中

2015
挑戦2014
発表飯森新世紀
日本センチュリー交響楽団アーティスト・イン・レジデンス
小山 実雅恵
YOKO KOYAMA首席指揮者
飯森 範親
HIRONORI KAWANISHI首席客演指揮者
アラン・ブリバエフ
ALAN BRULOV

飯森新世紀

2年目となる2015年は「挑戦」の年。

日本センチュリー交響楽団 2015年度シンフォニー定期演奏会プログラム

第200回
2015
4/10金
19:00開演
4/11土
15:00開演

アーティスト・イン・レジデンスと共に迎える200回記念の贅宴
和田 薫:祝賀〜日本センチュリー交響楽団のためのファンファーレ〜
シューマン:ピアノ協奏曲
マーラー:大地の歌
指揮:飯森 範親
ピアノ:小山 実雅恵
テノール:堀井 敏
バリトン:寿部 誠 敬

第204回
2015
10/23金
19:00開演
10/24土
15:00開演

勝利の行進か?強制された歓喜か?
リムスキー=コルサコフ:組曲「見えざる町キテージと
聖女フェヴローニャの物語」より
ロドリゴ:アランフェス協奏曲
ショスタコーヴィチ:交響曲 第5番
指揮:アラン・ブリバエフ
ギター:ミロシュ

第201回
2015
6/19金
19:00開演
6/20土
15:00開演

首席客演指揮者ブリバエフ 待望のロシア音楽シリーズ始動!!
ムソルグスキー:歌劇「ホヴァンシチナ」より前奏曲「モスクワ川の夜明け」
ショスタコーヴィチ:ヴァイオリン協奏曲 第1番
ムソルグスキー(ラヴェル編曲):組曲「展覧会の絵」
指揮:アラン・ブリバエフ
ヴァイオリン:ヨシフ・イワノフ

第209回
2015
11/13金
19:00開演
11/14土
15:00開演

音楽は右手を越える
ベートーヴェン:序曲「コリオラン」
プロコフィエフ:ピアノ協奏曲 第4番
シュベルト:交響曲 第8番「グレイト」
指揮:ピアノ・レオン・フライシャー

第202回
2015
8/28金
19:00開演
8/29土
15:00開演

オール・ドヴォルザーク・プログラム
ドヴォルザーク:序曲「謝肉祭」(1878)/序曲「オセロ」(1879)
ドヴォルザーク:テ・デウム
ドヴォルザーク:交響曲 第7番
指揮:飯守 泰次郎
ソプラノ:秦 茂子
バリトン:小森 輝彦
合唱:大阪センチュリー合唱団

第205回
2016
1/15金
19:00開演
1/16土
15:00開演

主役は誰だ?協奏曲で競争
ヨハン=シュトラウスⅡ世:
ボルカ「狩り」(1875)/トリッチ・トラッチ・ボルカ(1876)
ブラームス:ヴァイオリン協奏曲
バルトーク:管弦楽のための協奏曲
指揮:飯森 範親
ヴァイオリン:イザベル・ファウスト

第203回
2015
9/18金
19:00開演
9/19土
15:00開演

悪魔のヴァイオリンとリズムの神化
グズノフ:交響詩「ステンカ・ラーズ」
パガニーニ:ヴァイオリン協奏曲 第1番
ベートーヴェン:交響曲 第7番
指揮:マルティン・ジーグハルト
ヴァイオリン:神尾 真由子

第207回
2016
3/25金
19:00開演
3/26土
15:00開演

もう一つの名シンフォニー
ラフマニノフ:ピアノ協奏曲 第2番
チャイコフスキー:交響曲「マンフレッド」
指揮:飯森 範親
ピアノ:ヤン・イラー・チェック・フォン・アルニン

会場:ザ・シンフォニーホール チケット料金 S席 7,500円 / A席 6,000円 / B席 4,500円 / C席 3,500円 / D席 1,500円

©symphony

新規会員
募集中

シンフォニー定期個人会員

年8回開催の「シンフォニー定期演奏会」を、シーズンを通して「マイシート」でご鑑賞いただけるコースです。リハーサル見学や懇親会、「四季コンサート2015」へのご招待など、魅力的な特典を多数ご用意しました。

クラブ会員

「シンフォニー定期演奏会」「いずみ定期演奏会」「四季コンサート」「びわ湖定期公演」「京都特別演奏会」の中から、お好きなコンサートを自由に選んでお楽しみいただける制度です。4枚1組のクーポンのご利用でお友達、ご夫婦、ご家族とご一緒に、もちろんお一人でも、お得にコンサートをご鑑賞いただけます。

お申込み・お問合せ センチュリー・チケットサービス Tel.06-6868-0591 (平日 10:00~18:00)

公益財団法人日本センチュリー交響楽団 <http://www.century-orchestra.jp/>
〒561-0873 大阪府豊中市康楽緑地1-7 TEL.06-6868-3030 FAX.06-6866-9020マエストロ
飯森範親の
ビデオメッセージ

千住 真理子

スペシャルインタビュー



SENJU MARIKO

全国各地を飛び回り、ザ・シンフォニーホールでは
70回以上のコンサートで登場されている千住真理子さん。
デビュー40周年を迎える心境を語っていただきました。



小宮田真光 (voile)

— N響と共演し12歳からプロとして活動。
デビュー当時の想い出

40年間で、一番忙しい時期だったかもしれないね。学業があつたので、中学、高校に通いながらの演奏活動は、想像以上に大変で両立させることに必死でした。勉強を疎かにしていると先生に呼び出される。一生懸命勉強をやる、今度は演奏の練習が足りないからミスが多くなる。シーズンゲームみたいで、精神的に追い詰められていました。でもすごく友達に恵まれて、家族のように応援してくれていた。勉強だけじゃなくて、友達に会うことが何よりも救いだった気がします。

— 40周年という節目を迎えて3本の柱となるコンサート

私にとってかけがえのない曲が、無伴奏。こことく重要な場でバッハが出てきた。亡くなる前までヴァイオリンが弾けたなら、バッハはその瞬間まで弾いていたい。しかも折りの曲で、すね。災害が起きたり、海外で戦争があつたり、そういう悲しい事件がある度に、音楽家として弾かねばならない曲と位置づけています。

そして、無伴奏と真逆にあるのが、コンチェルトです。100人近いオーケストラの方々が、後ろにまわってくださっての共演というスタイル。デビューした時に、恩師の江藤先生に、コンチェルトの音の出し方を教えていただいた。普通の弾き方とあらゆる面で違うんです。音の出し方、力の入れ方、実は、音程の取り方も、わざとほんの少しずつ音程を高めにとって弾くのが、コンチェルト弾きには必要なことなんです。そうすることによって、立体的に音が飛び出てくる。そういう全てを12歳から学んで来ただけに、コンチェルトは、もう一本の大きな柱となっています。

最後に、バレンタイン公演でも演奏させてい

ただ、小品ですね。小さい品って書くけれども、実は難しい。音符を弾くのは簡単ですが、魂とかエスプリを表現するのは、ほんとにその大人にならないと弾けない。3分ぐらいの曲の中に深いドラマがあつて、まるで30分を演奏するかのよう表現して行くのが醍醐味。年齢を重ねて、自分の中で練れてくると思うんです。だから小品は、益々大切に弾いて行きたい曲なんです。この3本の柱が、私にとって大切なメインとなっています。

— ザ・シンフォニーホール初登場は1988年。
ザ・シンフォニーホールについて

ザ・シンフォニーホールは日本一というよりも、世界一好きなんです。ステージに立つた時に「聴衆が私の心の中に入ってきた」という感じがするんです。それは演奏家として感動的な事なんです。ステージから、聴衆の一人一人が非常に近くに見えるように作られている。音も遠くまで飛んで行つて、向こうまで行つてしまったという響きではなく、近くで自分の音が常に鳴っているという音響なんです。だから、集中して自分の心に向き合つて弾くことができ、大阪のファンの方は本当にノリがよくて、いい意味で演奏家をうまく弾かせるんです。

よね。大阪の聴衆の力つていうのは、これこそ文化だと思っています。

— 40周年を迎える心境

車が好きなから、ニュートラルから、ドライブにギアチェンジした時の、「行くぞ」という感じ。40周年はただの節目であるけれど、ここでもう一回アクセルを思いっきり踏み込みたいような気持ちで迎えようと思っています。

— ファンの皆様にもメッセージを

できれば、3公演とも聴いて欲しい。この3つがあつての私なので、もちろんどれか一つしかいらつしやらない方も、その側面をたつぷり味わっていただきたいと思うし、楽しんでいただけるように私は今から準備をしています。

歳を重ねて、その年齢が音になるようなヴァイオリン弾きになって行けば、それが夢と語る千住さん。聴衆の心の奥深くに届く音色にますます磨きがかかる演奏会が楽しみです！

千住真理子 デビュー40周年記念 3大公演

スウィート・バレンタイントーク&リサイタル

発売中

[ピアノ] 山岡 智

黒人聖歌：アメイジング・グレイス／J.S.バッハ／V.グノー：アヴェ・マリア
シューベルト：アヴェ・マリア／ヘンデル：私を泣かせて下さい
ヴィターリ：シャコンヌ トカティ／ショパン：別れの曲
モンティ：チャールダーシュ／クライスラー：愛の喜び・美しきロスマリン
マスネ：タイスの瞑想曲／フォーレ：子守唄／ドビュッシー：月の光
越谷達之助/渡辺俊幸：初恋／サラサーテ：ツイゴイネルワイゼン

2015.2.7(土) 2:00PM 全席指定 4,000円(税込)

ドラマティック・コンチェルト!

[指揮] 十束尚宏

[管弦楽] 日本センチュリー交響楽団

シベリウス：交響詩「フィンランディア」op.26
シベリウス：ヴァイオリン協奏曲 ニ短調 op.47
チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 op.35

2015.7.12(日) 2:00PM A 6,000円 B 4,500円 C 3,000円(税込)

バッハ無伴奏ヴァイオリン・ソナタ&バルティータ全曲リサイタル

バッハ：無伴奏ヴァイオリン・ソナタ全6曲

2015.11.1(日) 2:00PM 全席指定 4,000円(税込)

[ご予約] ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

[お問い合わせ] ABCチケットインフォメーション(朝日放送内) 06-6453-6000

[主催] 朝日放送

最先予約
1/23(土)
一般発売
1/25(日)
詳しくは
12ページへ

5月下旬
発売予定



泣き声だって音楽の一部。初めてクラシックに触れる子供たちの表情を見てあげてほしい。

発売中

大阪交響楽団 0歳児からの光と映像で楽しむオーケストラ Vol.2

大阪交響楽団とザ・シンフォニーホールが贈る
家族全員で楽しめるコンサート。
その思い出はいつまでも忘れられない絆になる。

少し前まで、ザ・シンフォニーホールはクラシック音楽の殿堂だった。いやいや、それは今も変わりはない。今も立派なクラシックの殿堂だ。だけど何かが違うのだ。2014年11月26日、ホール全体が初めて子供たちの声に包まれたこのコンサート「V.O.O.I.」以来、ザ・シンフォニーホールは家族全員で楽しめる柔らかな音楽空間の顔も持つことになった。お母さんと子供だけではなくお父さん、おじいちゃん、おばあちゃんも、みんなが温かな、幸せな時間を過ごしたコンサート。その「V.O.O.I.」の開催が決定した。

当日、ホールに入ったら、まず2階のホワイエに行ってみよう。そこではロビー・コンサートが始まっている。歌のお兄さんの新井宗平さん、歌のお姉さんの山本かずみさん、そして大阪交響楽団のメンバーによる歌と演奏。これから始まる本編の楽しさがしっかりと伝わってくる。会場に入って席に着いたら、やがてプレコンサート。新井さん、山本さんの鮮やかなリードによって、子供たちはもう目を輝かせている。そしていよいよ大阪交響楽団の登場。指揮は常任指揮者の寺岡清高さん

だ。「V.O.O.I.」ではここでロッシーニの歌劇「ウィリアム・テル」からスイス軍の行進が演奏された。あとはもう、ジェットコースターに乗ったような1時間。楽器紹介コーナー、あり、おんがくりズム遊びコーナー、あり、オーケストラの演奏に、乗せて、プロジェクション・マッピングが2曲で披露される。ステージ上部を雪の結晶が飛び交い、大きなパイプオルガンがユーモラスに形を変える。その美しさ、客席からは、ほうつというため息が洩れる。

もちろん泣く子はいらぬ。走り回る子供だっている。でも速慮や気兼ねはいらない。このコンサートでは、そんな音楽の一部なのだ。ほとんどが初めてクラシックに触れる子供たちを前に、寺岡さんと大阪交響楽団は真剣に音楽を届けてくれる。その素晴らしいさに触れて彼らがどんな表情をするのかを、ぜひ見てあげてほしい。その思い出はきつといつまでも忘れられない家族の絆になる。

(逢坂 肇)



開演前、楽団メンバーもロビーに集まって、音楽に合わせてみんなで手遊び！



歌のお兄さん、お姉さんに誘われて大迫力の音楽の世界へ出発！



みんなとびぎりの笑顔で音楽に合わせて歌ったり、ゆめたり、遊び上ったり！

【指揮】寺岡清高(常任指揮者) 【歌のお兄さん】新井宗平
【歌のお姉さん】山本かずみ 【管弦楽】大阪交響楽団
オッフェンバック「天国と地獄」より「カンカン」
指揮者林毅一(指揮者) ドレミの星
アンダーソン「踊る子猫」 おんがくりズムあそびコーナー
ロシニ「ウィリアム・テル」の序 ほか

2015.4.2(木) 午前の部 11:00AM / 午後の部 3:00PM

おとな \$ ¥2,000 A ¥1,500 B ¥1,000 こども \$ ¥1,000 A ¥500
(幼児は大人のおよ1/2、0歳児は無料です。 ※乳幼児のお子様は席の上でよいとさせていただきます)

【主催】一般社団法人 大阪交響楽団、ザ・シンフォニーホール
【ご予約・お問い合わせ】ザ・シンフォニーチケットセンター 06-6453-2333

ショパン&ラヴェル、フランスの風が運ぶ圧倒的なピアノの世界

優先予約
1/17(土)
一般発売
1/18(日)

シンフォニー・ブランチコンサート Vol.3 菊地裕介



若手ピアニストが華麗に繰り広げる「シンフォニー・ブランチコンサート」。
第3回はエネルギーみなぎる菊地裕介が登場する。

「即戦力」のあるピアニストを目指して

コンサートやCD録音のみならず、音大での後進の指導やコンクール審査など、多忙な日々を送る菊地裕介。多彩なレパートリーとエネルギーあふれる活動の原点には、憧れのピアニストがいた。

「僕が高校生のころ、すでに大活躍されていたのが横山幸雄さんでした。年間何十本も本番をこなし、破竹の勢いで活動するピアニスト。僕の理想でした。自分ものんびりしてられないなど、高校卒業後はバリ音楽院に留学しました」

留学中は国際コンクールに次々と挑戦し、優勝・上位入賞を重ねた。

「1年で10個ほど受けていましたね。1つのコンクールの準備に掛けた時間は数週間。正直十分とはいえませんが、権威あるコンクールでは2年ほど準備する熱心な人もいますから、でも僕は当時の経験が、結果的に今の力になっていると思います。それは「即戦力」です。求められるものを、最短の準備期間で、高いクオリティで聴衆にお届けする力。プロのピアニストとして息の長い活動をするために、とても大切な力だと思っています」

ピアノの頂点に輝く
ショパンとラヴェルの作品

今回のリサイタルではショパンとラヴェルの傑作を並べた。



「うわ、やる気だね!」というプログラムです(笑)。どちらも圧倒的にテクニカルな作品。ショパンの「12の練習曲 op. 25」は、1曲ずつが2、3分と短いながら、奏者の音楽性やテクニックの全てがあらわになってしまふ。ショパンは誇り高く、英雄的で、なおかつ破壊の美学も持ち合わせた完璧な作曲家ですね。

ラヴェルもまた緻密な音楽を書き上げた完璧主義者。中でも「夜のガスパール」は、最高峰にピアノスティック。緊張感がみなぎり、磨き込まれた日本刀を眺めるような美しさがあります。ザ・シンフォニーホールでの演奏は、2009年10月にメンデルスゾーンのピアノ協奏曲を披露して以来6年振りとなる。

「大阪の皆さんは、こちらの一生懸命さに対して正直な反応を示してくださいるのでホッとします。今回も熱意たっぷりです。ですので、応援よろしくお願いします!」(飯田有抄)

【ピアノ】菊地裕介

ショパン：12の練習曲 op. 25 全曲

「エオリアン・ハーブ」「夢々」「木枯らし」「大洋」ほか

ラヴェル：夜のガスパール 全曲

2015. 5/11(月) 11:00AM

全席指定 2,000円

プレセミナー付プレミアムシート 3,000円(限定50席)

1/17(土) 優先

1/18(日) 一般

【ご予約】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

【お問い合わせ】

一般社団法人全日本ピアノ指導者協会 03-3944-1583

【主催】一般社団法人全日本ピアノ指導者協会/ザ・シンフォニーホール

ブランチ・コンサート vol.1 本番前の舞台裏スナップ!!

11月20日、関本昌平さんのリサイタルでブランチ・コンサートシリーズが開幕となりました!!リハーサルから、凛とした集中力をみなぎらせる関本さん。会場の空気を心地よい緊張感が漂います。

そして、即完となった50席限定の「プレ・セミナー」。後藤正孝さんが、楽屋スペースにて、ご自身が出演されるシリーズ第2回目公演プログラム、ショパンとリストの対照的な魅力、そして二人の天才に魅了される後藤さんならではのストーリーをお話しいただきました!





平日 7:30PM~お仕事帰りに大阪フィル・サウンドで名曲を堪能!

大阪フィル×ザ・シンフォニーホール

<ソワレ・シンフォニー> Vol.5

世界的な指揮者コンクールで優勝に輝いた気鋭の
若手マエストロが満を持して登場

優先予約: 1/17(土) 一般発売: 1/21(水)



将来が最も期待される若手指揮者として、
国際舞台で熱い視線を浴びている垣内悠希氏が「ソワレ・シンフォニー」に登場。
今一番聴かせたい曲を渾身のタクトで振る

指揮台での情熱的な姿とは
打って変わって音楽について語
る口調は穏やか。78年生まれ

のマエストロ垣内悠希は、201
1年に若手指揮者の登竜門
として有名なブザンソン指揮

者コンクールで優勝し、世界的
な注目を集めた期待の星だ。

ザ・シンフォニーホールと大阪
フィルハーモニー交響楽団の共

催による、忙しい方も仕事帰
りに気軽に楽しめる少し遅め

始まりという新しいタイプの
コンサート「ソワレ・シンフォニー」

ではグリムカ、ショパン、ムソルグ
スキー(ラヴェル編曲)を振る。

大阪フィルとの共演はこれが
三度目。

「大阪フィルとはベートーヴェン
で初めて共演させていただきま

したが、伝統あるオーケストラ
でスタイルも確立しているのに、

僕の意見を柔軟に取り入れて
くださったのが嬉しかった。

モーツァルトやベートーヴェンの
場合、演奏家によって使っている

楽譜の版が違うことが多いの
で、皆さんは違う版を使わ

れていました。僕が使う版の
楽譜を受け入れてくださった。

とてもやりやすかったですね」
珠玉の名曲が並ぶ今回のソ

ワレ・シンフォニー「展覧会の絵」
(ムソルグスキー作曲/ラヴェル

編曲)は、先日チリのサンティア
ゴ交響楽団と共演し、大きな

好評を得た。

「サンティアゴでは長めのリ
ハーサルを取ることが出来て、

かなり深く掘り下げることが
出来たので自信をもっていま

す」展覧会の絵はムソルグス
キーのピアノ曲をラヴェルが

オーケストラ版に編曲したも
のですが、オリジナルのロシア音

楽の要素を踏まえつつ、ピアノ
一台の自由な感覚をオーケスト

ラで表現したいですね。1人で
弾く曲を、80、90人のオーケ

ストラでやる難しさと面白さ
があります」

2001年にウィーンに渡
り、留学先のドイツ語圏での活

動が多かったが、ブザンソン優
勝後は日本で振る機会も頼

繁になった。

「現在ウィーン在住ですが、
日本も含め色々な国で指揮を

させていただくことが多く、
日々勉強することはかなりで

す。人だけで自己完結するの
が嫌なので、人ともものを作るの

が楽しくて、指揮者になりたい
と思ったんですよ」

ショパンの「ピアノ協奏曲第
2番」でソリストを務める山本

貴志(2005年ショパン国際
ピアノコンクール入賞)とは今回

が初共演。国際的な舞台で修
業を積んだ垣内氏の演奏に期

待が集まる。

(小田島久恵)



【指揮】垣内悠希 【ピアノ】山本貴志
【管弦楽】大阪フィルハーモニー交響楽団
グリムカ：歌劇「ルスランとリジドミラ」序曲
ショパン：ピアノ協奏曲 第2番 へ短調 op.21
ムソルグスキー(ラヴェル編曲)：組曲「展覧会の絵」

2015. 5/22(金) 7:30PM

均一指定 3,500円

1/17(土)優先 1/21(水)一般

【ご予約・お問い合わせ】
ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
【主催】公益社団法人大阪フィルハーモニー協会/ザ・シンフォニーホール

山本 貴志【ピアニスト】

1983年長野県出身。2002年桐朋女子高等学校音楽科
(男女共学)を、08年ワルシャワ・ショパン音楽アカデミー
を首席で卒業。04年度文化庁新進芸術家海外留学研修
員。大島正泰、玉置善己、ピートル・バレチニに師事。
05年ショパン国際ピアノコンクール第4位入賞など受賞
歴多数。現在ポーランド・ワルシャワ在住。

【オフィシャルホームページ】
<http://takashi-yamamoto.com/>



エヴァ・メイの華やかでチャームな歌唱を
全身で受け止める。

エヴァ・メイ

ソプラノ・リサイタル

*Eva Mei
Soprano
Recital*



からだ全体でうたい、演技し、作品のすばらしさを伝えるエヴァ・メイ。
人間の声の美しさと多彩な感情をストレートに表現。
歌の奥深さに共感し、真の感動を得る。

いま、欧米で高い評価を得ているエヴァ・メイは、常に全力投球のステージを展開する歌手である。彼女のモットーは、「楽譜にあくまでも忠実に、余分なことはいっさいせず、作品そのものを前面に押し出すこと」。自分の存在を誇張するよりも、歌詞を大切に、作曲家の意図に沿うことを心がけている。

だが、その歌声はけっして無機格的ではなく、作品本来の姿が浮き彫りになるため、聴き手は作品のすばらしさに心から酔うことができる。彼女は歌を通して聴衆に語りかけ、作品の内奥へと自然にいきなっていくのである。

エヴァ・メイは長身で引き締まった体躯をし、粋で洒脱で笑顔が素敵な女性である。ステージに登場した瞬間から、その存在感で聴き手を引き付けてしまう魅力を放っている。そして第一声から天性の美しい高音を聴かせ、全身で演技し、あたかもオペラのステージを連想させるような歌を披露する。

今回のプログラムも、彼女が得意とする作品がズラリと勢ぞろい。歌曲もオペラ・アリアも自家筆によるものが並んでいる。

このプログラムは、エヴァ・メイならではの独自の構成で、オペラ歌手としての側面と歌曲を得意とするもうひとつの顔がたつぷりと味わえる考え抜かれた選曲である。まず、スカルラッティからヴェルディまで、さまざまな様式、表現、技巧、内容が込められた

イタリア歌曲がうたわれる。

ここでは、歌詞を大切に彼女の明快で的確な発音に注目したい。そしてアクセントや正しい呼吸法などにも耳を開きたい。さらにオペラ・アリアをうたうときは、完全に役になりきる。その演技力が聴衆を瞬時にオペラの舞台へと引き込むのである。

今回の役柄では、特に「弱音の美しさ」に耳をそばだてたいもの。エヴァ・メイの弱音の美しさはつい涙がこぼれるほど美しいからである。「声は神が人間に与えた最高の楽器」ということばがあるが、まさにエヴァ・メイの声は神からの贈り物。彼女は天性の声に磨きをかけ、最高の楽器に鍛え上げた。心の琴線に触れるその歌声は、いつまでも消えることはない。

(伊藤よし子)

【ソプラノ】エヴァ・メイ 【ピアノ】浅野菜生子

発売中

スカルラッティ: すみれ / ガンジス川から隔はのぼり
ベッリーニ: あつき願ひ / ゆかしい月よ / 行け、幸せなバラよ /
喜ばせてあげて

ドニゼッティ: (ドン・パスカルーレ) ~ "その魅惑の魔力を"

プッチーニ: 《ラ・ボエーム》 ~ "私が町を歩くとき"

ヴェルディ: 《シチリアの晩鐘》 ~ "ありがとう、愛する友よ" /

《リゴレット》 ~ "暮れぬ人の名は"

レハール: 《メリー・ウィドウ》 ~ "ウィリアムの歌"

ヴェルディ: 《ラトラヴィータ》 ~ "ああ、そば後の人か~花から花へ" ほか

2015.3.13(金) 7:00PM

\$ 8,000円 A 5,000円

(ご予約) サ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

(お問い合わせ) エス・ビー・エース 06-6204-0412

(主催) 東京プロムジカ / サ・シンフォニーホール

0歳からの 栗コーダーカルテット



【出演】栗コーダーカルテット

小番組「ピタゴラスイッチ」

みかんの花咲く丘

リンゴのうた（「おかあさんといっしょ」より）

帝国のマーチ（ダース・ベイダーのテーマ）

アイネ・クライネ・ナハトムジーク 第一楽章 ほか

2015.4/17（金）2:00PM

おとな 2,000円 子ども（0歳児から小学生）1,000円

※乳幼児のお子様（お席の上でも）も必ず座席料をお購入ください。

【ご予約・お問い合わせ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

【主催】栗コーダーカルテット / ザ・シンフォニーホール



一度聴いたら忘れられないのが「ピタゴラスイッチ」の音楽。NHK Eテレで10年以上放送されている教育番組です。でも、「栗コーダーカルテット」の4人が奏でるのは、この曲だけではありません。メンバーの関島岳郎さんは「たまたま出会ってしまった」と言うのですが、2014年に結成20周年を迎えた活動の中で幅広いレパートリーが出来上がりました。

栗コーダーの音楽はオリジナルとカバーが二本柱になっています。2013年に「あの歌この歌」というCDが発売された。このアルバムから今回のプログラムに選ばれているのは、季節に合わせて春の歌の「みかんの花咲く丘」なのですが、春夏秋冬ことに唱歌や童謡が集められていて、どの曲を聴いても、誰もが知っているメロディが、栗コーダーを含んだ様々な楽器で彩られています。よく知っているのに、初めて聴くように新鮮な印象を受けるのです。

メンバーの川口義之さんによると、「こんな身近な楽器でこんなに楽しい音楽が出来るんだ」とコンサートを見に来たお客さんに驚かれるそうですが、実は「栗コーダーカルテット」といっても、4人それぞれがリコーダー以外の楽器を手にする曲もあるのが栗コーダーの特徴です。サクソフーン、ギター、ウクレレ、鍵盤ハーモニカ、テューバや口琴など、様々な楽器を駆使して多彩なサウンドがあらわれます。

「ピタゴラスイッチ」でも子供たちが大喜びする「川口」という「ピタゴラスイッチ」の音楽は、もちろん、ホッとさせる音楽を、非日常的なコンサートホールで味わうという魅力と共に、1時間にギュッと凝縮してお届けします。小さなお子様だけでなく、世代を超えて楽しめる平日昼間のコンサートです。どうぞリラックスしてお楽しみください。（小味津彦之）



マウロ・イウラート

【ピアノ】タカコ・イネス・アサヒナ

【トラム】マーティン・ブレイシー 【ベース】トーマス・ボズナー

【ヴァイオリン スペシャル・ゲスト】マウロ・イウラート

【ヴィジュアルディ】四季〜冬 リスト：ラ・カンパネラ

クライスター：愛の喜び、ブニャーニの様式による前奏曲とアレグロ

ビゼー：カルメンより ほか

2015.2/10（火）7:00PM

前夜祭（前夜祭）10,000円 S 5,000円 A 4,000円 B 3,000円

【前夜祭】前夜祭 3,000円（2ドリンク・前夜祭）※前夜祭にはホールがワイエにて出演

者（前夜祭）を予定しております。フラタナ祭、パーティー祭はザ・シンフォニー

チケットセンターのみでの取り扱いになります。【前夜祭】前夜祭は前夜祭、

【ご予約・お問い合わせ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

エス・ピー・エス 06-6204-0412

【主催】Neo Classic ソサエティ / ザ・シンフォニーホール

大作曲家による珠玉の名曲に、熱い感情の揺らめきを感じるヴァレンタイン・ナイト

ネオ・クラシック CLASSIC x JAZZ

St. Valentine 〜様々な愛の姿〜

発売中

クラシックとジャズを融合、重厚で情熱的な全く新しいジャンルを切り開くネオクラシック。昨年夏ザ・シンフォニーホールでの初公演では、スタンディングオベーションが巻き起こる大興奮のライブとなりました。様々な愛の姿をタイトルに、ドラマチックなアレンジで珠玉の名曲をお届けする今回のヴァレンタイン・コンサート。『愛』と音楽は密接な関係にありとても自然なテーマと語るのはバンドリーダーの朝比奈。『愛や人生を主題とした芸術作品は今まで数多く生まれています。今はクラシック、つまり古典と呼ばれる音楽も、作曲当時は生々しい感情が込められていました。ルーツがヨーロッパにあるクラシック音楽はその表現がとてもダイレクトだと感じています。誰もが感じたことのある激情を、演奏を通じてストレートに感じ取っていただければと思います。2月の寒い夜がホットな一夜となるよう、趣向を凝らして皆様をお待ちしています。』とメッセージを送る朝比奈。彼女たちが生み出す情熱のサウンドに酔いしれる時間を是非ご堪能ください！

ヤング・プレミアムボイスとは??

ザ・シンフォニーホールは世界へ羽ばたく若手アーティストを応援します!

3回目となる注目若手アーティストを紹介する当コーナー、今回は凛とした音色が聴衆に深い印象を残す期待の新鋭ピアニスト、中桐望をご紹介します!

中桐 望

Nozomi Nakagiri

実力派ピアニストとして将来を囑望される中桐望。ポーランドでの研鑽でさらに進化を遂げた今、ザ・シンフォニーホールに登場。



1/30 オクタヴィア・レコードより発売

「中桐 望 ショパン&ラフマニノフ」

【収録曲】ショパン: 24の前奏曲

ラフマニノフ: リラの花、ショパンの主題による変奏曲

OVCT-00100 定価3,000円(税別)

©Sivigo Azumaya

Young Premium Voice vol.3

そんな彼女がいよいよザ・シンフォニーホールのステージに立つ。今回は本人が「最も好きな作曲家」と語るラフマニノフとショパンにフォーカス。ラフマニノフでは性格の異なる2つの小曲に加え、演奏機会は多くないがドラマティックな展開を見せる名曲「ショパンの主題による変奏曲(抜粋)」を選曲。デビューリサイタルでも渾身の演奏で鮮烈なインパクトを残し、CDにも収められた必聴の一曲である。一方ショパンでは「雨だれ」をはじめ人気曲

浜松国際ピアノコンクールをはじめ数々のコンクールでの受賞歴を誇る中桐望。普段は親しみやすいキャラクターの彼女だが、ひとたび鍵盤に触れると恐ろしいほどの集中力と無窮自在の表現力で聴衆を釘付けにしてしまう。昨春のデビューリサイタル成功を皮切りに今年1月には初のCDをリリースするなど、ピアニストとして本格的な活動を始めた。一方で昨秋よりポーランドでの留学を開始し、日本とポーランドを行き来する生活を送っている。

の数々を取り上げる。ショパンの故郷ポーランドで研鑽を積む彼女によってこれらの曲がどう表現されるのか、今から楽しみでならない。

今回彼女が選んだピアノは、輝かしい音色と力強さが各方面から好評のヤマハコンサートグランドピアノCFX。彼女がどのような美音を紡ぎ出すのか、こちらも大いに期待したい。

(二瀬忍)

ヤング・プレミアムコンサート vol.3 中桐 望 ピアノ・リサイタル

発売中

【ピアノ】中桐望

ラフマニノフ: 前奏曲「鐘」/ リラの花 / ショパンの主題による変奏曲より
ショパン: 雨だれ / 黒鍵のエチュード / 革命のエチュード / 英雄がロネーズ

2015.3.25(水) 11:00AM

全席指定 2,000円

ブティック・パーティー付プラチナシート 3,500円(限定100席)
ヤング・プレミアムコンサートシリーズ プラチナシート 全3回通し券 9,000円
(終演後に、出演者を囲んだパーティーがございます。軽食つき)
プラチナシートは、ザ・シンフォニー チケットセンターのみでの取扱いとなります。

【ご予約お問い合わせ】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333 【主催】ART+LINKS / ザ・シンフォニーホール

関西打楽器協会 設立30周年記念 <スーパー・ガラコンサート>

三人のマリンピストと二人のドラマーのガラコンサート。
世界が認めた超ビッグな5人アンコールに「ウェストサイドストーリー」!

『ネイ・ロサウロ』ブラジルが生んだマリンバ奏者兼作曲家。9枚のソロCDを発表。E・グレニーとロンドンシンフォニーとの録音など、オーケストラとのマリンバコンチェルトは2500回を超える。メロディックな作風・演奏センスは広く称賛されている。



『大茂絵里子』ベルギー国際マリンバコンクールでの優勝をはじめ、国内外での数多くの賞を最高位で受賞。「全米打楽器協会国際コンベンション」の招待や「PASIC 国際打楽器コンクール」の審査などでも活躍。ステージでは華やかさを演出する。



『神保彰』世界が認めるドラマー。ミディードラムトリガーを駆使した、ワンマンオーケストラと言われる独自の演奏スタイルを編み出した。驚異的な演奏テクニックと、モダンテクノロジーの融合による前人未踏のバフォーマー。



【マリンバ】ネイ・ロサウロ、大茂絵里子、小森邦彦
【ドラム】神保彰、石川直
マリンバ協奏曲 第2番 / 想記
ワンマンドラムの「リベルタンゴ」「運命」
ドラムパフォーマンス パートI&II

2015.5/2 (土) 6:00PM

S 4,000円 A 3,000円 B 2,000円 2/1 (日) 発売

【ご予約】
ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
【お問い合わせ】関西打楽器協会 06-6423-0359
【主催】関西打楽器協会 / ザ・シンフォニーホール

『石川直』13歳の時にアメリカに。日本人初となるスネアドラム・ソロ部門個人優勝を獲得。ソロステージ・BLAST・レコーディングなど、幅広いジャンルのミュージックシーンで活躍。BLASTでの「ボレロ」のソロワークは特に有名となった。



『神保彰』世界が認めるドラマー。ミディードラムトリガーを駆使した、ワンマンオーケストラと言われる独自の演奏スタイルを編み出した。驚異的な演奏テクニックと、モダンテクノロジーの融合による前人未踏のバフォーマー。



日野原重明プロデュース「～奇跡の歌声に乗せて～ 愛と生きる力をあなたに」

優先予約
1/17 (土)
一般発売
1/21 (水)

ペー・チェチョル テノール・コンサート

昨年9月、会場を満ちた感動と涙で包んだコンサート、
聖路加国際病院名誉理事長 日野原重明氏プロデュースにより
バージョンアップして再び登場!

映画「ザ・テノール 真実の物語」
全国一斉公開を記念して、昨年9月末に行われたペー・チェチョルコンサート。映画

の実際の主人公となった奇跡の歌声に、最後には涙を流す聴衆で満ちたあのコンサートの再び帰って来ます! しかも今回は、ペー・チェチョルの歌に心酔した聖路加国際病院名誉理事長 日野原重明先生プロデュース!

現役の医師としていまも多くの人々に生きる力を与え続け、また世界平和を願い、驚くばかりの精力的活動を続ける日野原氏。幼少期よりピアノの演奏を行い、自らも患者さんを勇気づけるために作詞作曲をするという知られざる一面も。

【お話し】日野原重明 【テノール】ペー・チェチョル
【ピアノ】松崎充代
〈原典〉主は我羊飼ひ、キリストには代えられませんが、慈しみ深きヘンデル: 涙流れるまに、オンブラ・マイ・フ
カッチーニ: アマリッリ、アヴェ・マリア / 越ヶ谷達之介: 初恋
山田耕筰: からたちの花 / シューベルト: 菩提樹、セレナーデ、アヴェ・マリア
ブッチーニ: オペラ「トスカ」から「星はきらめき」

2015.4/21 (火) 2:00PM A 5,500円 B 4,500円

【ご予約】ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333
【ご予約・お問い合わせ】エス・ビー・エス 06-6204-0412
【主催】ヴォイス・ファクトリー/ザ・シンフォニーホール

第一回は、音楽療法のスペシャリストでもある日野原先生によるお話し、そして第二回はペー・チェチョルによるリサイタル。音楽を聴く喜びが、生きる喜びに変わる特別なコンサートです!

10月2日、アジア最大の映画祭、釜山国際映画祭で、映画「ザ・テノール」が特別上映作品となり、日野原氏はペーさんを助するため、わずか半日の滞在というハードスケジュールで現地を訪れた。

